



すべてに感謝を すべてに愛情を 常にほがらかに

うつえ きよこ
打江 記代さん
株式会社打江精機 取締役

かがや 輝く女性 高山で活躍する みなさんの今

県は県内で活躍する女性や子育てを応援する企業を平成26年から認定。うち、市内には21人の女性と3つの企業があります。高山で活躍する“みなさんの今”を連載で紹介します。

「誰もが気持ちよく働くにはどうしたらいいかを考えて取り組んできました」
と語るのには、株式会社打江精機の取締役を務める打江記代さん。

以前は薬剤師として病院に勤めていましたが、結婚後、義父の経営する打江精機に入社しました。その打江精機は、現在10人以上の障がい者を雇用しています。その雇用率は61%と、全国平均の2倍以上にもなります。当時の社長が山ゆり学園を視察し、利用者の個性を生かす活動に感銘を受けたことがきっかけで障がい者の雇用がはじまりました。

この想いを受け継いでいこうと、障がい者の積極的な雇用を推進したほか、自身の経験から、産前産後休暇や育児休暇制度をいち早く導入するなど、社員が働きやすい環境の整備に取り組んできました。

「常に気にかけて一人の大人として認め、接し、支援するんです」
と笑顔で話す打江さん。

障がいのある方は支援が必要である一方、行き過ぎるとかえって自尊心を傷つけてしまう。だからこそ、社員とともに障がいを理解し、できることを見つけてあげる。障がいを持つ人が仕事ができるように支援することで、会社全体に人を育てる風土が培われてきたと感じています。

また、そんな会社経営の傍ら、平成18年度から高山市教育委員も務め、市内小中学校の郷土教育の推進にも力を注いでいます。

「郷土教育は、子どもたちの心の土台づくり。『高山』という根っこを張り巡らせて、自信を持って社会に飛び出してほしい」

子どもたちの心の根底に、郷土高山をしっかり根付かせて心の軸を築いて欲しいと願っています。

「子どもは大人の姿を見て何かしら感じている。型にはめた子育てをしなくても、自分の進むべき道を決めていくんです」

そう話す打江さんから頂戴した名刺には、社訓が記してありました。
「すべてに感謝を・すべてに愛情を・常にほがらかに」

広報 市長だより

177

高山から安全でおいしい野菜を
高山市長 國島芳明

丹生川町でトマトの生産を手がける有限会社橋場農園が、グローバルGAP認証を取得されました。グローバルGAP (Good Agricultural Practice) とは、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会の食材調達基準にもなるなど、安全で品質の良さを認定する農産物の国際認証のことです。

橋場農園の認証取得は、青果物部門では県内初の取得となります。認証取得に向けて、数多くのチェック項目に対応するための徹底した品質管理など、大変なご苦労のもとに取得されたものと感服いたしました。報告のため市役所を訪れた橋場康夫さんは「今回の認証取得は、みなさんに応援していただいたおかげです。従業員の士気も高まりました」と語りました。

今回の認証取得は、橋場農園のトマトの品質を証明できただけでなく、夏秋トマトの生産額が全国2位を誇る飛騨地域全体への影響を考えたとき、その功績は計り知れません。市としても引き続き飛騨地域の農産物支援に全力で取り組んでまいります。



橋場さん(写真④)と河瀬飛騨農林事務所長(⑤)

ケーブルテレビの番組「ハイ、市役所です」はインターネットでもご覧いただけます。
市ホームページ「行政情報」の動画コーナー

高山市公式YouTubeチャンネル

検索

市長室へようこそ

●市民と市長の面談日

6月25日(月)
午前9時～11時45分

※事前にご予約ください



また、始業前の時間も市役所の市長室を「市民と市長の対話の場」として開放しています。お気軽にお越しください。

●開放時間

午前7時～8時30分まで

※出張や特別な行事がある場合は除きます。
※市ホームページで市長の週間スケジュールを公開しています。

市長室直通FAXもご利用ください
FAX●32-7000

問合せ先 秘書課 ☎35-3130